

変形性  
頸椎症

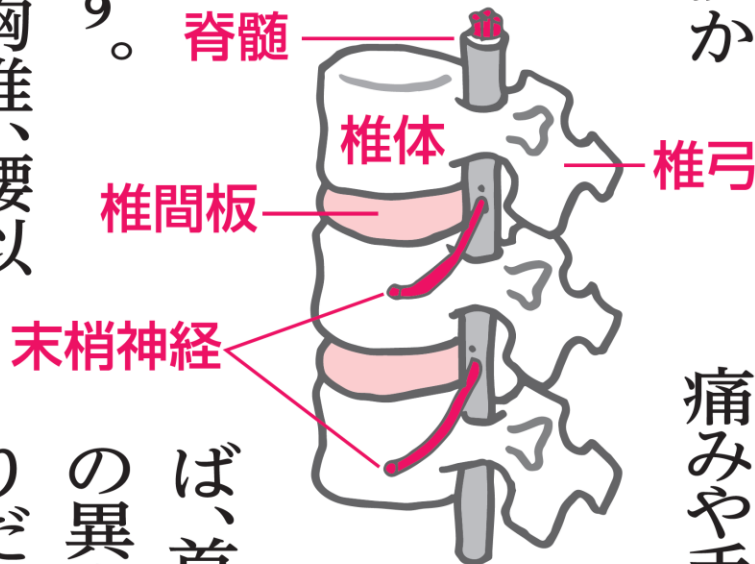


変形性頸椎症について、詳しく教えてください。



肩凝りの原因  
の一つに変形性頸  
椎(けいつい)症

があります。脊髄は前方を椎体、後方を椎弓という骨に囲まれた脊柱管の中にあり、それぞれが上下に椎間板や靭帯(じんたい)でつながり、脊髄から出る四肢や体幹への末梢(まっしょう)神経は、椎弓の間の椎間孔から出ています。首は頸椎、胸は胸椎、腰以下は腰椎、仙椎、尾椎に分かれますが、頸椎は他の場所より脊柱管が狭く、加齢や外傷、長期の姿勢などで骨や靭帯、椎間板が変形して、末梢神経や脊髄を圧迫するので症状が出ま



す。その症状は首や肩の凝りなどの軽いものから、肩から腕への痛みや手の脱力、重くなる

と歩行障害を伴うものまであります。次第に進行していく方がいれば、首のエックス線写真の異常だけや軽い肩凝りだけで進まない方もいて、その進行もさまざまです。特に最近、スマートフォンやパソコンの使用による長期の前かがみの猫背姿勢なども要注意だといわれています。私生活から姿勢に喝!ですね。



朝倉病院  
理事長/院長  
田辺 裕久さん